

# 健康支援と社会保障制度

# 健康支援と社会保障制度

目標Ⅰ. 社会生活を視点とした個人・家族・集団の機能や変化について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
1 社会・生活基盤と健康	A 生活単位の機能と変化	a 人口構造(少子高齢化、総人口の減少)	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 D-2 「平均寿命と出生」 (p.108~110)、E-1 「少子高齢化」 (p.126~128)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-1-1 「国民経済の現状」 (p.40~43)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 A-2-1 「出生に関する動向」 (p.59~65)</p> <p>公衆衛生 : 第6章 B-3 「健康指標の基礎資料——人口を把握する」 (p.135~138)、第7章 A-1-3 「日本の少子化対策」 (p.155)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第2章 A-1 「人口の変化」 (p.30~35)</p>
		b 家族、世帯	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第2章 C-2-1 「看護の対象としての家族」 (p.88~90)、第3章 D-7 「家族」 (p.116~118)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 B-3 「家族からとらえる大人」 (p.34~35)、第3章 H 「家族支援」 (p.136~140)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第3章 B-2-1 「家族の発達段階」 (p.130~133)</p> <p>公衆衛生 : 第7章 B-7 「家族のライフステージに応じた健康課題と健康づくり」 (p.189~191)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第2章 A-3 「家族・個人の変化」 (p.37~39)</p> <p>社会学 : 第11章 D 「結婚と家族」 (p.180~183)、E 「保健医療からみた結婚と家族」 (p.183~186)</p> <p>家族論・家族関係論 : 第1章 A 「家族を巡る基本概念」 (p.2~3)</p>
		c 住居	<p>在宅看護論 : 第2章 B 「住まい方と健康」 (p.36~39)</p>
	B ライフサイクル	a 出生	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 D-2 「平均寿命と出生」 (p.108~110)</p> <p>小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第1章 B-2 「出生と家族」 (p.9~12)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 A-2-1 「出生に関する動向」 (p.59~65)</p>
		b 教育、養育	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 D-3 「子どもの健康」 (p.110~112)</p>
		c 婚姻、離婚	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 D-5 「結婚と出産」 (p.113~114)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 B-1-1 「婚姻の動向」 (p.86~88)</p>
	C 労働と健康	a 就業構造	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 D-6 「仕事と生計」 (p.114~116)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 B-2-2 「労働の実態と社会状況」 (p.31~33)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第2章 A-4 「経済状況の変化」 (p.39~41)、A-5 「雇用状況の変化」 (p.42~44)</p> <p>社会学 : 第7章 A 「『働き方』と『働かせ方』」 (p.106~111)</p>
		b 労働時間	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 D-6 「仕事と生計」 (p.114~116)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-2-4 「自殺・職業性疾病・作業関連疾患」 (p.54~56)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 余暇	<p>社会学：第7章B「『働き方』『働かせ方』による健康への影響」(p.111~114)、D「仕事と生活の調和」(p.117~120)</p> <p>家族論・家族関係論：第4章C-2「長時間労働と遠距離通勤」(p.113~115)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第1章B-2-3「ワークライフバランス」(p.33~34)</p> <p>社会保障・社会福祉：第2章A-5-4「仕事と余暇——ワーク・ライフ・バランス」(p.44)</p>
		d 健康診断と受療状況	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章A-2-2「受療状況」(p.51)</p> <p>公衆衛生：第7章B-3「健診・検診」(p.179~181)、第9章A-2-2「『労働安全衛生法』に基づく健康管理の実際」(p.311~313)</p>
		e 労働基準法	<p>母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第6章D-2「職場復帰」(p.353~354)</p> <p>公衆衛生：第1章B-3「富の増大と職業病——産業保健のはじまり」(p.20~22)、第9章A-1-1「労働者の健康問題と労働関連法令の変遷」(p.304~305)</p> <p>看護関係法令：第9章A-1「労働基準法」(p.234~237)</p>
		f 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律〈育児・介護休業法〉	<p>母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第2章A-3-2「母性看護に関するおもな法律」(p.75~76)</p> <p>母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第6章D-2「職場復帰」(p.353~354)</p> <p>公衆衛生：第9章C-3「男女共同参画とワークライフバランス」(p.320~321)</p> <p>看護関係法令：第9章A-5「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」(p.241~242)</p>
2 家族の機能やライフスタイルの変化	A 家族の機能	a 夫婦、親子	<p>公衆衛生：第7章B「成人保健」(p.172~175)、B-7「家族のライフステージに応じた健康課題と健康づくり」(p.189~191)</p> <p>社会保障・社会福祉：第2章A-3-2「家族の機能と役割の変化」(p.37~39)</p> <p>社会学：第11章D-2「わが国における結婚と家族の変化」(p.181~183)</p> <p>家族論・家族関係論：第2章C「夫と妻の役割と常識」(p.41~50)</p>
		b 育児、介護	<p>総合医療論：第3章D「少子高齢化社会と世代間のきずな」(p.77~85)</p> <p>公衆衛生：第7章A-4「育児支援のための母子保健活動」(p.160~164)、A-7「地域の母親によるエンパワメント」(p.169~171)、C-7「高齢者保健の課題」(p.200~205)、C-8「地域コミュニティによる支えとは」(p.205~207)</p> <p>社会保障・社会福祉：第2章A-3-2「家族の機能と役割の変化」(p.37~39)、第4章A-1「介護保険制度創設の背景」(p.86)</p> <p>家族論・家族関係論：第3章A「ベアレンティングとは」(p.64~71)、第4章D「高齢化社会と少子化」(p.123~135)</p>
		c 家事	<p>社会保障・社会福祉：第2章A-3-2「家族の機能と役割の変化」(p.37~39)</p> <p>家族論・家族関係論：第4章A「家族の生活文化」(p.98~105)</p>
	B ライフスタイルの変化	a 雇用形態	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第3章D-6「仕事と生計」(p.114~116)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第1章B-2-2「労働の実態と社会状況」(p.31~33)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 女性の労働	<p>社会保障・社会福祉：第2章 A-5「雇用状況の変化」(p.42~44)</p> <p>社会学：第7章 A-2「わが国における変化」(p.108~110)</p> <p>家族論・家族関係論：第4章 C「職場と家族」(p.112~123)</p> <p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第3章 D-6「仕事と生計」(p.114~116)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第1章 B-2-2「労働の実態と社会状況」(p.31~33)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第2章 B-4-2「労働」(p.92~93)</p> <p>社会保障・社会福祉：第2章 A-3-2「家族の機能と役割の変化」(p.37~39)、A-5「雇用状況の変化」(p.42~44)</p> <p>社会学：第7章 A-2「わが国における変化」(p.108~110)</p> <p>家族論・家族関係論：第4章 C「職場と家族」(p.112~123)</p>
		c 少子化、晩婚化、晩産化	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第3章 D-5「結婚と出産」(p.113~114)、E-1「少子高齢化」(p.126~128)</p> <p>小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第1章 A-1-2「子どもと家族、社会」(p.5)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第5章 C-1-2「心理・社会的特徴」(p.206~211)</p> <p>公衆衛生：第7章 A-1-3「日本の少子化対策」(p.155)</p> <p>社会保障・社会福祉：第2章 A-1-2「人口動態および人口構成の変化」(p.30~35)、第7章 C-3-1「少子化の課題と家族」(p.205)</p> <p>人間関係論：第9章 A-1「家族機能と現代家族の動向」(p.187~190)</p> <p>家族論・家族関係論：第4章 D-3「少子化」(p.133~135)</p>
		d 地域活動への参加	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第3章 E-3「人とのつながり」(p.129~130)</p> <p>老年看護学：第2章 A-5「高齢者の暮らし」(p.30~35)</p> <p>社会保障・社会福祉：第7章 A-2-5「高齢者の健康増進と社会参加促進対策」(p.166)</p>
		e 家族観の多様化	<p>社会保障・社会福祉：第2章 A-3-2「家族の機能と役割の変化」(p.37~39)</p> <p>社会学：第11章「性・ジェンダー・家族と保健医療」(p.172~187)</p> <p>家族論・家族関係論：第1章 C「家族の変貌」(p.5~12)、D「わが国における家族の変貌」(p.12~19)、第4章 A「家族の生活文化」(p.98~105)</p>
3 社会の中の集団	A 集団の機能と変化	a 地域集団 (コミュニティ・グループ)	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章 C-1「集団(グループ)の持つ意味」(p.101~103)</p> <p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第4章 B-1「集団のなかの自己」(p.128~129)、B-2「グループプロセス」(p.129)</p> <p>公衆衛生：第2章「公衆衛生の活動対象」(p.44~59)</p> <p>社会学：第1章 C「集団・組織・ネットワーク」(p.15~17)</p> <p>人間関係論：第4章 A-2「集団のなかでの行動パターン」(p.77~82)</p>
		b 集団心理	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第4章 B-4「全体としてのグループ」(p.132~136)</p> <p>社会保障・社会福祉：第8章 C「集団援助技術(グループワーク)」(p.228~234)</p> <p>人間関係論：第4章 A-2「集団のなかでの行動パターン」(p.77~82)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c グループダイナミクス	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 3 章 C-1 「集団 (グループ) の持つ意味」 (p.101~103)</p> <p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 4 章 B-3 「グループの歴史—なぜグループなのか」 (p.129~132)、B-4 「全体としてのグループ」 (p.132~136)</p> <p>公衆衛生 : 第 3 章 D-1 「住民組織・自助グループ・サポートグループ」 (p.78)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第 8 章 C 「集団援助技術 (グループワーク)」 (p.228~234)</p> <p>人間関係論 : 第 4 章 A-2-4 「レヴィンのグループダイナミクス研究」 (p.79~80)</p>
	B 地域や職場における人間関係	a ソーシャルサポートネットワーク	<p>公衆衛生 : 第 2 章 A 「自分の生活と健康に関する社会集団」 (p.45~47)、第 3 章 D 「住民との協働」 (p.78~79)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第 8 章 H-3 「地域ケアシステムにおける他機関との連携」 (p.256~257)</p> <p>社会学 : 第 12 章 「地域社会と保健医療」 (p.190~202)</p> <p>人間関係論 : 第 10 章 「ソーシャルサポートをめぐる人間関係」 (p.212~231)</p> <p>家族論・家族関係論 : 第 4 章 B 「地域と家族」 (p.105~112)</p> <p>精神保健福祉 : 第 4 章 A-2 「精神保健福祉に関する支援システム」 (p.73~81)</p>
		b フォーマルサポート、インフォーマルサポート	<p>在宅看護論 : 第 4 章 F-3 「社会資源の活用」 (p.102~103)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第 8 章 H-3 「地域ケアシステムにおける他機関との連携」 (p.256~257)</p> <p>社会学 : 第 12 章 「地域社会と保健医療」 (p.190~202)</p>

目標Ⅱ. 社会保障の理念、社会保険制度および社会福祉に関する法や施策について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
4 社会保障制度の基本	A 社会保障の理念と変遷	a 目的、機能	<p>社会保障・社会福祉 : 第 1 章 A-2 「社会保障の目的」 (p.4)、A-3 「社会保障の機能」 (p.5)</p> <p>社会学 : 第 13 章 「保健医療制度」 (p.206~217)</p>
		b 日本国憲法第 25 条	<p>公衆衛生 : 第 1 章 C-3 「日本国憲法のなかの公衆衛生」 (p.30~31)、C-4 「日本国憲法と世界人権宣言における健康と人権」 (p.31~32)、第 2 章 B-1 「看護職は『みんな』の権利をまもる守護神の 1 人」 (p.47~48)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第 1 章 A-1 「社会保障の概念」 (p.2~4)</p> <p>看護関係法令 : 第 1 章 C 「厚生行政のしくみ」 (p.12~18)</p>
		c 人権、倫理	<p>総合医療論 : 第 5 章 D 「生命倫理学と臨床倫理学の展開」 (p.122~127)</p> <p>公衆衛生 : 第 2 章 B-2 「万国共通の看護職の公的責任」 (p.48~49)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第 1 章 A-1 「社会保障の概念」 (p.2~4)、A-2 「社会保障の目的」 (p.4)</p>
		d ノーマライゼーション	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 2 章 B-1-4 「福祉にかかわる対策—地域でのノーマライゼーションの広がり」 (p.77~81)</p> <p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 5 章 C-2-5 「統合失調症の治療」 (p.176~178)、第 7 章 B-10 「病院精神医学から地域・社会精神医学へ—社会療法の流れ」 (p.292~293)</p> <p>総合医療論 : 第 3 章 E 「障害者のノーマライゼーションと社会的包摂」 (p.85~89)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		e 情報公開、地方分権、参加	<p>社会保障・社会福祉：第7章 B-2-1「ノーマライゼーション」(p.174~175)</p> <p>社会学：第12章 E「ノーマライゼーションと地域」(p.201~202)</p> <p>人間関係論：第11章「ノーマライゼーションをはぐくむ人間関係」(p.234~253)</p> <p>精神保健福祉：第1章 A「人は人に支えられながら生きている」(p.3)</p> <p>総合医療論：第5章 G「インフォームド・コンセントと医療情報の開示」(p.132~138)</p> <p>公衆衛生：第3章 B-2「地方自治体レベル」(p.71~72)、D「住民との協働」(p.78~79)</p> <p>社会保障・社会福祉：第1章 B-1「社会福祉の法制度の歴史的展開」(p.12~15)、第2章 A-2-3「地方分権の動向」(p.36)</p>
	B 社会保障制度	<p>a 社会保障給付費</p> <p>b 社会保障制度改革</p> <p>c 地域包括ケアシステム</p> <p>d 社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)</p>	<p>社会保障・社会福祉：第1章 A-6「社会保障給付費」(p.10~11)</p> <p>社会保障・社会福祉：第2章 B「社会保障・社会福祉の動向」(p.44~50)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第13章 B-1「医療提供体制・諸制度の変化」(p.360~362)</p> <p>総合医療論：第7章 F「地域包括医療システムの新しい展開」(p.186~187)</p> <p>公衆衛生：第7章 C-6「地域の特定に応じた地域包括ケアシステム」(p.197~200)</p> <p>社会保障・社会福祉：第4章 B-5-10「地域支援事業」(p.103~105)</p> <p>看護情報学：第5章 C「保健医療福祉のネットワークと情報システム」(p.117~127)</p> <p>看護関係法令：第9章 B-10「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」(p.251~252)</p>
5 社会保険制度の基本	A 社会保険の理念と変遷	<p>a 目的、機能</p> <p>b 国民皆保険・皆年金</p>	<p>社会保障・社会福祉：第1章 A-4-1「社会保険」(p.5~6)</p> <p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章 C-3-1「医療保険制度」(p.243~245)</p> <p>看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第4章 D「医療制度」(p.173~182)</p> <p>社会保障・社会福祉：第3章 A「医療保障制度の沿革」(p.52~55)、B-2「わが国の医療保障制度の特徴」(p.57~60)、第5章 B-4-1「国民皆年金までの道のり」(p.128)</p>
	B 医療保険制度	<p>a 被用者保険</p> <p>b 国民健康保険</p> <p>c 高齢者医療制度(高齢者の医療の確保に関する法律〈高齢者医療確保法〉)</p> <p>d 国民医療費の動向</p>	<p>看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第4章 D-1「医療保険制度」(p.173)</p> <p>社会保障・社会福祉：第3章 B-2-1「医療保険制度の種類」(p.57~58)</p> <p>社会保障・社会福祉：第3章 B-2「わが国の医療保障制度の特徴」(p.57~60)、C「健康保険と国民健康保険」(p.60~70)</p> <p>社会保障・社会福祉：第3章 D「高齢者医療制度」(p.71~76)</p> <p>看護関係法令：第7章 A-3「高齢者の医療の確保に関する法律」(p.197~199)</p> <p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章 C-3「看護サービスと経済のしくみ——診療報酬と人員配置」(p.243~247)</p> <p>社会保障・社会福祉：第3章 G「国民医療費」(p.81~84)</p> <p>看護関係法令：第7章 A「費用保障」(p.191~199)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		e 公費医療制度	在宅看護論：第4章B「在宅看護にかかわる法令・制度」(p.78～84) 社会保障・社会福祉：第3章F「公費負担医療」(p.79～81)
		f 診療報酬制度	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章C-3「看護サービスと経済のしくみ——診療報酬と人員配置」(p.243～247) 社会保障・社会福祉：第3章E「保険診療のしくみ」(p.76～79)
	C 介護保険制度	a 基本理念	老年看護学：第2章B-2-2「介護保険制度の整備」(p.39～50) 在宅看護論：第4章B-1「介護保険制度」(p.78～79) 社会保障・社会福祉：第4章B-1「制度の基本理念」(p.91)
		b 保険者、被保険者	看護関係法令：第7章A-4「介護保険法」(p.199～206) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章B-1-4「福祉にかかわる対策——地域でのノーマライゼーションの広がり」(p.77～81) 在宅看護論：第4章C-1「保険者・被保険者・受給権者」(p.84～85) 社会保障・社会福祉：第4章B-2「保険者」(p.91～92)、B-3「被保険者」(p.92～93) 看護関係法令：第7章A-4-1「保険者など」(p.199)、A-4-2「被保険者」(p.200)
		c 要介護・要支援の認定	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章B-1-4「福祉にかかわる対策——地域でのノーマライゼーションの広がり」(p.77～81) 在宅看護論：第4章C-2「利用の手続き」(p.85～86) 社会保障・社会福祉：第4章B-4「要介護・要支援の認定」(p.93～94) 看護関係法令：第7章A-4-4「要介護認定および要支援認定」(p.203～204) 精神保健福祉：第6章B-3「介護サービス利用時の連携と看護」(p.183～186)
		d 保険給付と利用者負担	在宅看護論：第4章C-4「利用料」(p.90) 社会保障・社会福祉：第4章B-5「保険給付」(p.94～105) 看護関係法令：第7章A-4「介護保険法」(p.199～206)
		e ケアマネジメント	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章E-3「ケアマネジメント」(p.119～120) 在宅看護論：第4章F-4「介護保険制度におけるケアマネジメント」(p.103～104) 社会保障・社会福祉：第4章B-5-6「居宅介護支援と介護予防支援」(p.97～98)、第8章D-2-2「ケアマネジメント」(p.235～236)
		f 介護サービス	在宅看護論：第4章C-3「介護保険で給付対象となるサービス」(p.86～90) 社会保障・社会福祉：第4章B-5「保険給付」(p.94～105)
		g 介護予防	在宅看護論：第4章C-3「介護保険で給付対象となるサービス」(p.86～90) 社会保障・社会福祉：第4章B-5-4「介護予防サービス」(p.96)
	D 年金制度	a 制度の体系	社会保障・社会福祉：第5章B-3「わが国の年金保険制度のしくみ」(p.121～128) 看護関係法令：第7章B「年金」(p.206～208)
		b 給付と費用負担	社会保障・社会福祉：第5章B-3「わが国の年金保険制度のしくみ」(p.121～128)
	E B～D 以外の社会保険制度	a 雇用保険	社会保障・社会福祉：第5章D-1「雇用保険制度」(p.134～137)



大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 労働者災害補償保険法	看護関係法令：第9章 A-4「雇用保険法」(p.241) 社会保障・社会福祉：第5章 D-2「労働者災害補償保険制度」(p.137~140) 看護関係法令：第9章 A-3「労働者災害補償保険法」(p.240~241)
6 社会福祉に関する法や施策	A 社会福祉の理念と変遷	a 措置制度と利用契約制度	社会保障・社会福祉：第1章 B-2「社会福祉サービスの内容とサービス提供のしくみ」(p.15~18)、第2章 B-3-1「社会福祉基礎構造改革」(p.48~49)
		b 利用者保護の制度	社会保障・社会福祉：第2章 B-3-1「社会福祉基礎構造改革」(p.48~49)
	B 社会福祉に関わる機関と機能	a 福祉事務所	社会保障・社会福祉：第1章 B-5-1「社会福祉行政」(p.24)
		b 児童相談所	小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第8章 A-2「現在の児童福祉」(p.174~176) 社会保障・社会福祉：第1章 B-3-2「福祉6法」(p.19~23)、B-5-1「社会福祉行政」(p.24)、第7章 C-2-1「児童福祉法」(p.198~199) 精神保健福祉：第4章 B-2-1「児童虐待への対応」(p.87~89)
		c 更生相談所	社会保障・社会福祉：第1章 B-5-1「社会福祉行政」(p.24)
		d 社会福祉施設	社会保障・社会福祉：第1章 B-2「社会福祉サービスの内容とサービス提供のしくみ」(p.15~18)
		e 在宅サービスの実施機関	社会保障・社会福祉：第1章 B-2「社会福祉サービスの内容とサービス提供のしくみ」(p.15~18)、第4章 B-5-6「居宅介護支援と介護予防支援」(p.97~98)、B-5-8「指定居宅サービス事業者と介護保健施設」(p.100~102) 看護関係法令：第7章 A-4-5「事業者・施設の指定など」(p.204~205) 精神保健福祉：第6章 B-3「介護サービス利用時の連携と看護」(p.183~186)
	C 社会福祉における民間活動	a 民生委員、児童委員	公衆衛生：第3章 D-2「民生委員・母子保健推進員・健康推進員」(p.79) 社会保障・社会福祉：第1章 B-6「社会保障・社会福祉の従事者と担い手」(p.26) 看護関係法令：第8章 A-3-2「民生委員法」(p.215) 精神保健福祉：第4章 A-2-2「支援システムを構成するおもな社会資源」(p.75~78)
		b 社会福祉協議会	社会保障・社会福祉：第1章 B-5-2「社会福祉協議会」(p.24)
		c ボランティア活動	総合医療論：第7章 G-2「保健・医療・福祉におけるボランティア活動の意義」(p.188~189) 社会保障・社会福祉：第8章 H-3「地域ケアシステムにおける他機関との連携」(p.254~255) 精神保健福祉：第4章 A-2-2「支援システムを構成するおもな社会資源」(p.75~78)
	D 生活保護に関する法や施策	a 基本理念と原則	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第6章 E-2-3「生活を支えるための法律と制度」(p.330~334) 社会保障・社会福祉：第6章 B-1「生活保護制度の目的・原理・原則」(p.144~146) 看護関係法令：第8章 A-2「生活保護法」(p.213~215) 精神保健福祉：第8章 A-2「貧困・低所得に対する社会補償制度」(p.246~248)
		b 扶助の種類と内容	社会保障・社会福祉：第6章 B-2「生活保護の種類と方法」(p.146~151) 看護関係法令：第8章 A-2「生活保護法」(p.213~215) 精神保健福祉：第8章 A-2「貧困・低所得に対する社会補償制度」(p.246~248)



大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	E 障害者(児)に関する法 や施策	a 障害者基本法	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 2 章 B-1-4 「福祉にかかわる対策——地域でのノーマライゼーションの広がり」(p.77~81)</p> <p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 6 章 E-2-3 「生活を支えるための法律と制度」(p.330~334)</p> <p>公衆衛生 : 第 7 章 F-1 「障害・難病とは」(p.234~236)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第 7 章 B-3-4 「障害者基本法の改正」(p.179~180)、B-4-1 「障害者基本法の抜本的改正」(p.181~182)</p> <p>看護関係法令 : 第 8 章 D-1 「障害者基本法」(p.224~225)</p> <p>リハビリテーション看護 : 第 1 章 B-1-2 「障害者基本法」(p.8)</p>
		b 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 (障害者総合支援法)	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 2 章 B-1-4 「福祉にかかわる対策——地域でのノーマライゼーションの広がり」(p.77~81)</p> <p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 6 章 E-2-3 「生活を支えるための法律と制度」(p.330~334)</p> <p>精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 13 章 C 「生活を支えるための社会資源・サービス」(p.280~292)</p> <p>在宅看護論 : 第 4 章 B-3 「障害者総合支援法」(p.80~81)</p> <p>公衆衛生 : 第 7 章 D-2-2 「地域での生活を支える制度」(p.213~215)、F-2 「障害者支援活動の理念と法的根拠」(p.237~239)、F-3 「地域支援システム」(p.239~249)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第 7 章 B-4-3 「障害者総合支援法の成立」(p.182~186)</p> <p>看護関係法令 : 第 8 章 D-2 「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律」(p.225~228)</p> <p>リハビリテーション看護 : 第 1 章 B-1-6 「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)」(p.9)</p> <p>精神保健福祉 : 第 3 章 A-2 「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)」(p.47~55)</p>
		c 身体障害者福祉法	<p>社会保障・社会福祉 : 第 1 章 B-3-2 「福祉 6 法」(p.19~23)、第 7 章 B-3-1 「障害者福祉制度の成立と障害種別の格差」(p.177~178)</p> <p>看護関係法令 : 第 8 章 D-3-4 「身体障害者福祉法」(p.229~230)</p> <p>リハビリテーション看護 : 第 1 章 B-1-3 「身体障害者福祉法」(p.8)</p>
		d 知的障害者福祉法	<p>社会保障・社会福祉 : 第 1 章 B-3-2 「福祉 6 法」(p.19~23)、第 7 章 B-3-1 「障害者福祉制度の成立と障害種別の格差」(p.177~178)</p> <p>看護関係法令 : 第 8 章 D-3-6 「知的障害者福祉法」(p.231~232)</p>
		e 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 (精神保健福祉法)	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 7 章 E-1-4 「精神科看護の基本となる法律」(p.319~320)、E-2 「精神科領域で必要な法律と制度」(p.320~340)</p> <p>公衆衛生 : 第 7 章 D-2-2 「地域での生活を支える制度」(p.213~215)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第 7 章 B-3-1 「障害者福祉制度の成立と障害種別の格差」(p.178~179)</p> <p>看護関係法令 : 第 4 章 B-1 「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」(p.125~132)</p> <p>リハビリテーション看護 : 第 1 章 B-1-4 「精神保健福祉法」(p.8)</p> <p>精神保健福祉 : 第 3 章 A-1 「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(精神保健福祉法)」(p.40~47)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		f 発達障害者支援法	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 7 章 E-2-5 「個別の課題に対応した法律」 (p.337~340)</p> <p>公衆衛生 : 第 7 章 F-3-2 「就学支援」 (p.243~247)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第 7 章 B-3-5 「発達障害者支援法の成立」 (p.180)</p> <p>看護関係法令 : 第 8 章 D-3-7 「発達障害者支援法」 (p.232)</p> <p>リハビリテーション看護 : 第 1 章 B-1-5 「発達障害者支援法」 (p.8)</p>
		g 障害者の雇用の促進等に関する法律 (障害者雇用促進法)	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 7 章 E-2-3 「生活を支えるための法律と制度」 (p.330~334)</p> <p>看護関係法令 : 第 9 章 A-6-2 「障害者の雇用の促進等に関する法律」 (p.243)</p> <p>公衆衛生 : 第 7 章 D-2-3 「リカバリーを支えるために」 (p.215~218)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第 7 章 B-5-2 「就労支援」 (p.188~192)</p> <p>リハビリテーション看護 : 第 1 章 B-2 「障害者を支えるおもな制度」 (p.10~12)</p> <p>精神保健福祉 : 第 5 章 B-4 「精神障害者の就労支援」 (p.145)</p>
		h 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律 (障害者差別解消法)	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 7 章 E-2-1 「権利擁護に関する法律と制度」 (p.321~327)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第 7 章 B-4-4 「障害者差別解消法の成立」 (p.186)</p> <p>看護関係法令 : 第 8 章 D-3-1 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」 (p.228)</p> <p>リハビリテーション看護 : 第 1 章 B-2 「障害者を支えるおもな制度」 (p.10~12)</p>
		i 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律 (障害者虐待防止法)	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 7 章 E-2-1 「権利擁護に関する法律と制度」 (p.321~327)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第 7 章 B-4-2 「障害者虐待防止法の成立」 (p.182)</p> <p>看護関係法令 : 第 8 章 D-3-2 「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」 (p.228~229)</p> <p>リハビリテーション看護 : 第 1 章 B-2 「障害者を支えるおもな制度」 (p.10~12)</p> <p>精神保健福祉 : 第 8 章 B 「障害者虐待と精神保健福祉」 (p.253~265)</p>
		j 障害者基本計画	<p>社会保障・社会福祉 : 第 7 章 B-3-3 「新障害者基本計画と新障害者プラン」 (p.179)</p> <p>リハビリテーション看護 : 第 1 章 B-2 「障害者を支えるおもな制度」 (p.10~12)</p>
	F 児童に関する法や施策	a 児童福祉法	<p>小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 8 章 A 「児童福祉」 (p.168~173)</p> <p>公衆衛生 : 第 7 章 A-1-2 「日本の母子保健の歩み」 (p.153~154)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第 1 章 B-3-2 「福祉 6 法」 (p.19~23)、第 7 章 C-2-1 「児童福祉法」 (p.198~199)</p> <p>看護関係法令 : 第 8 章 B-1 「児童福祉法」 (p.217~219)</p>
		b 児童虐待の防止等に関する法律 (児童虐待防止法)	<p>小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 8 章 A 「児童福祉」 (p.170~176)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 6 章 G 「児童虐待と看護」 (p.301~307)</p> <p>公衆衛生 : 第 7 章 A-5 「児童虐待防止のための母子保健活動」 (p.164~167)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第 7 章 C-4-1 「児童虐待の防止等に関する法律」 (p.208~209)</p> <p>看護関係法令 : 第 8 章 B-2-2 「児童虐待の防止等に関する法律」 (p.220)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 母子及び父子並びに寡婦福祉法	精神保健福祉：第4章 B-2-1「児童虐待への対応」(p.87~89) 社会保障・社会福祉：第1章 B-3-2「福祉6法」(p.19~23) 看護関係法令：第8章 B-2-5「母子及び父子並びに寡婦福祉法」(p.221~222) 家族論・家族関係論：第4章 D-3「少子化」(p.133~135)
	G 高齢者に関する法や施策	a 老人福祉法	老年看護学：第2章 B-2-1「保健医療福祉制度の変遷」(p.36~39) 社会保障・社会福祉：第1章 B-3-2「福祉6法」(p.19~23) 看護関係法令：第8章 C-1「老人福祉法」(p.222~223)
		b 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律〈高齢者虐待防止法〉	老年看護学：第2章 C-2-6「高齢者虐待防止法」(p.58~60) 在宅看護論：第5章 D-6「虐待の防止」(p.165~166) 公衆衛生：第7章 C-7-6「介護者の健康、虐待予防」(p.204~205) 社会保障・社会福祉：第4章 B-8「利用者の権利擁護」(p.111~112) 看護関係法令：第8章 C-2-2「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」(p.224)
		c 老人福祉計画	社会保障・社会福祉：第4章 B-7「介護保健事業計画など」(p.109~110)
	H D～G以外の法や施策	a 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律〈DV防止法〉	母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第5章 F「性暴力を受けた女性に対する看護」(p.291~300) 社会保障・社会福祉：第7章 C-2-4「DV対策」(p.202~203) 看護関係法令：第9章 B-7「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」(p.247~248)
		b 次世代育成支援、少子化対策	小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第8章 A「児童福祉」(p.170~176) 母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第2章 A-4-4「次世代育成支援」(p.81~82) 公衆衛生：第7章 A-1-3「日本の少子化対策」(p.155) 社会保障・社会福祉：第7章 C-3「少子化対策と子育て支援」(p.205~208)
		c 依存症対策(アルコール依存、薬物依存、病的賭博)	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第7章 E-4-2「薬物・アルコール依存症対策」(p.343~344) 精神保健福祉：第8章 C「物質依存と精神保健福祉」(p.265~279)

目標Ⅲ. 公衆衛生の基本、保健活動の基盤となる法や施策および生活者の健康増進について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
7 健康と公衆衛生	A 公衆衛生の基本	a 公衆衛生の領域、活動の特徴	公衆衛生：序章 A「みんなの健康」(p.2)、第1章 A「公衆衛生とはなにか」(p.14~16)
		b 健康の概念に基づく公衆衛生	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-3「大人の健康」(p.57~62) 総合医療論：第1章 B「健康とは」(p.19~23) 公衆衛生：序章 A「みんなの健康」(p.2)、第1章 A「公衆衛生とはなにか」(p.14~16)
		c プライマリヘルスケア	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第3章 B-5「健康の実現：ヘルスプロモーション」(p.101~102)、第7章 A-5-1「プライマリヘルスケアとヘルスプロモーション」(p.307~309) 公衆衛生：第1章 D-1「プライマリヘルスケア」(p.32~34)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d ヘルスプロモーション	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 B-5「健康の実現：ヘルスプロモーション」(p.101~102)、第7章 A-5-1「プライマリヘルスケアとヘルスプロモーション」(p.307~309)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第4章「ヘルスプロモーションと看護」(p.146~160)</p> <p>公衆衛生 : 第1章 D-2「ヘルスプロモーション」(p.34~40)</p>
		e ポピュレーションアプローチ、ハイリスクアプローチ	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第4章 A-3-1「集団の健康を増進するための方法」(p.152~155)</p> <p>公衆衛生 : 第2章 D-5「ハイリスクとポピュレーションの複眼——社会集団の健やかな生活を保障するために」(p.58~59)</p>
	B 疫学的方法に基づく公衆衛生	a 健康被害と母集団	<p>公衆衛生 : 第6章 B「公衆衛生の場での疫学——集団をとらえる」(p.128~138)</p>
		b 疫学的因果関係の推定	<p>公衆衛生 : 第6章 C-2「疫学的因果関係」(p.141~142)</p>
		c 臨床疫学とエビデンス	<p>総合医療論 : 第6章 A「臨床疫学——医療における合理的判断」(p.142~148)</p> <p>公衆衛生 : 第6章 E「エビデンスを使う、つくる」(p.143~145)</p>
	C 健康に関する指標に基づく公衆衛生	a 国勢調査	<p>公衆衛生 : 第6章 B-3「健康指標の基礎資料——人口を把握する」(p.135~138)</p>
		b 人口静態	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-1-1「国民経済の現状」(p.40~43)</p> <p>公衆衛生 : 第6章 B-3「健康指標の基礎資料——人口を把握する」(p.135~138)</p>
		c 出生	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 D-2「平均寿命と出生」(p.108~110)</p> <p>小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第1章 B-2「出生と家族」(p.9~12)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 A-2-1「出生に関する動向」(p.59~65)</p> <p>公衆衛生 : 第6章 B-3「健康指標の基礎資料——人口を把握する」(p.135~138)</p>
		d 死亡、死因	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 D-9「老いと死」(p.120~126)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-2-1「生と死の動向」(p.49~51)</p> <p>公衆衛生 : 第6章 B-3「健康指標の基礎資料——人口を把握する」(p.135~138)</p>
		e 死産、周産期死亡、乳児死亡	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 D-3「子どもの健康」(p.110~112)</p> <p>小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第1章 B-3「子どもの死亡」(p.12~15)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 A-2-2「死亡に関する動向」(p.65~73)</p> <p>公衆衛生 : 第6章 B-3「健康指標の基礎資料——人口を把握する」(p.135~138)、第7章 A-1-1「日本の母子保健統計の動向」(p.150~152)</p>
		f 平均余命、平均寿命	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 D-2「平均寿命と出生」(p.108~110)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-2-1「生と死の動向」(p.49~51)</p> <p>公衆衛生 : 第6章 B-2-1「平均寿命、平均余命、健康寿命」(p.131~132)</p>
		g 健康寿命	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 E-2「健康寿命」(p.128~129)</p> <p>公衆衛生 : 第6章 B-2-1「平均寿命、平均余命、健康寿命」(p.131~132)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
8 公衆衛生における感染症と対策	A 感染症の基本	h 受療状況、有病率、罹患率	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 2 章 A-2-2 「受療状況」 (p.51) 公衆衛生 : 第 6 章 B-1 「疾患の発生状況を把握する」 (p.129~131)
		a 感染症の成立要因	成人看護学 [11] (感染症) : 第 2 章 B 「感染症が成立する条件」 (p.212~218) 微生物学 : 第 6 章 「感染と感染症」 (p.69~96)
		b 感染症の流行	微生物学 : 第 12 章 B-1 「新興・再興感染症」 (p.200~201) 公衆衛生 : 第 7 章 G-3 「公衆衛生上の重要な感染症とその対策」 (p.261~271)
		c 感染症の予防	成人看護学 [11] (感染症) : 第 6 章 A 「感染予防」 (p.322~351) 微生物学 : 第 12 章 C-3 「感染予防の理念と実際」 (p.206~208) 公衆衛生 : 第 7 章 G-2 「院内感染とその予防」 (p.259~261)
		d 予防接種	成人看護学 [11] (感染症) : 第 6 章 A-10 「予防接種とワクチン」 (p.342~351) 小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第 8 章 D 「予防接種」 (p.183~190) 微生物学 : 第 12 章 C-4 「ワクチンと予防接種」 (p.208~211) 公衆衛生 : 第 7 章 G-1-4 「予防接種」 (p.256~259) 看護関係法令 : 第 4 章 C-3 「予防接種法」 (p.153~157)
		e 院内感染と予防、感染防御	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 13 章 「感染防止の技術」 (p.421~459) 成人看護学 [11] (感染症) : 第 6 章 A 「感染予防」 (p.322~351) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第 2 章 C-2-3 「院内感染対策」 (p.43~48) 微生物学 : 第 12 章 B-2 「院内感染とその特徴」 (p.202~203) 公衆衛生 : 第 7 章 G-2 「院内感染とその予防」 (p.259~261) 救急看護学 : 第 4 章 A 「周囲の状況確認とスタンダードプリコーション」 (p.96~98)
	f 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 (感染症法)	成人看護学 [11] (感染症) : 第 2 章 A 「感染症とはなにか」 (p.210~212) 微生物学 : 第 12 章 C-1 「感染症法および関連する法律」 (p.203~205) 公衆衛生 : 第 7 章 G-1 「『感染症法』とその予防対策」 (p.252~259) 看護関係法令 : 第 4 章 C-1 「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」 (p.143~152)	
	B 主要な感染症と動向	a 結核	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第 5 章 A-4 「結核」 (p.153~164) 成人看護学 [11] (感染症) : 第 6 章 A-10 「予防接種とワクチン」 (p.342~351) 公衆衛生 : 第 7 章 G-3-2 「結核」 (p.262~265) 看護関係法令 : 第 4 章 C-1-10 「結核」 (p.151)
		b ヒト免疫不全ウイルス (HIV) 感染症、後天性免疫不全症候群 (AIDS)	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 5 章 C-7-3 「性感染症」 (p.179~180) 成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第 5 章 D-1-6 「HIV 感染症 / エイズ (AIDS)」 (p.200~201) 成人看護学 [11] (感染症) : 第 5 章 R 「HIV 感染症と日和見感染症」 (p.310~315) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第 6 章-C 「HIV に感染した女性に対する看護」 (p.269~278)



大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 新型インフルエンザ	<p>微生物学：第16章 B-11-2「ヒト免疫不全ウイルス」(p.347~350)</p> <p>公衆衛生：第7章 G-3-3「エイズ、HIV感染症」(p.265~269)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 B-1-2「保健にかかわる対策——健やかな生活をはぐくむために」(p.63~72)</p> <p>成人看護学 [2] (呼吸器)：第5章 A-2「インフルエンザ」(p.140~142)</p> <p>成人看護学 [11] (感染症)：第5章 S「新興・再興感染症」(p.315~318)</p> <p>微生物学：第16章 B-1-1「A型・B型・C型インフルエンザウイルス」(p.321~325)</p> <p>公衆衛生：第7章 G-3-1「新型インフルエンザ」(p.261~262)</p> <p>看護関係法令：第4章 C-2「新型インフルエンザ等対策特別措置法」(p.152~153)</p>
		d 薬剤耐性菌感染症	<p>公衆衛生：第7章 G-2-1「さまざまな院内感染」(p.259~260)</p>
		e 人獣共通感染症	<p>成人看護学 [11] (感染症)：第5章 N「人動物咬傷」(p.299~300)</p> <p>微生物学：第8章 C-2「動物由来感染症と人獣共通感染症」(p.138)</p>
9 公衆衛生における生活環境と問題への対策	A 地球環境	a 地球温暖化	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-1-3「日常生活を取り巻く環境」(p.48~49)</p> <p>公衆衛生：第4章 A-1「地球温暖化」(p.84~86)</p>
		b オゾン層の破壊	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-1-3「日常生活を取り巻く環境」(p.48~49)</p> <p>公衆衛生：第4章 A-2「オゾン層の破壊」(p.86~88)</p>
		c アスベスト、放射性物質	<p>公衆衛生：第4章 A-5「大気汚染」(p.92~94)、A-7「放射性物質」(p.95~97)</p>
		d 水質汚染	<p>公衆衛生：第4章 A-4「水質汚濁」(p.89~92)</p> <p>看護関係法令：第10章 B-5「水質汚濁防止法」(p.260~261)</p>
		e 大気汚染	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-1-3「日常生活を取り巻く環境」(p.48~49)、第5章 C-6-3「大気・空気・紫外線の問題」(p.177)</p> <p>公衆衛生：第4章 A-5「大気汚染」(p.92~94)</p> <p>看護関係法令：第10章 B-1「大気汚染防止法」(p.257~258)</p>
		f 土壌汚染	<p>公衆衛生：第4章 A-5「土壌汚染」(p.94~95)</p> <p>看護関係法令：第10章 B-7「土壌汚染対策法」(p.261)</p>
	B 食品および家庭用品	a 食品安全確保対策	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-1-3「日常生活を取り巻く環境」(p.48~49)、第5章 C-6-1「食品の安全性確保」(p.177)</p> <p>公衆衛生：第4章 B-2「食品管理——食品安全確保対策、食品衛生管理制度」(p.99~102)</p> <p>看護関係法令：第4章 D-1「食品安全基本法」(p.157)</p>
		b 食品衛生管理制度	<p>公衆衛生：第4章 B-2「食品管理——食品安全確保対策、食品衛生管理制度」(p.99~102)</p> <p>看護関係法令：第4章 D-2「食品衛生法」(p.157~159)</p>
		c 食中毒の予防	<p>公衆衛生：第7章 G-3-6「食中毒予防」(p.270~271)</p>
		d 家庭用品の管理安全対策	<p>公衆衛生：第4章 B-3「家庭用品の安全対策」(p.102~103)</p>
	C ごみ・廃棄物	a 一般廃棄物と産業廃棄物	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第5章 C-6-4「廃棄物処理」(p.177~178)</p> <p>看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第3章 F-5「廃棄物の取り扱いと管理」(p.127~128)</p> <p>公衆衛生：第4章 B-4-1「一般廃棄物と産業廃棄物」(p.103)</p>



大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 市町村と企業の責任	看護関係法令：第10章 B-11「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(p.262~264) 公衆衛生：第4章 B-4-2「廃棄物処理——市町村と企業の責任」(p.103~104)、B-4-3「医療廃棄物」(p.104~105)
	D 住環境	a バリアフリー	公衆衛生：第4章 B-5「バリアフリー」(p.106~107) 看護関係法令：第9章 B-6「高齢者、障害者等の異動等の円滑化の促進に関する法律」(p.246~247)
		b 室内環境と健康問題	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第5章 C-6-2「居住環境」(p.177) 成人看護学 [11] (アレルギー)：第2章 C-2「アレルギーの種類」(p.24~25) 公衆衛生：第4章 B-1「室内環境」(p.98~99)
10 保健活動の基盤となる法や施策	A 地域保健	a 地域保健法と施策	公衆衛生：第3章 A「政策展開」(p.64~74) 社会保障・社会福祉：第2章 B-2-3「地域保健対策の展開」(p.48)
		b 健康日本 21	看護関係法令：第4章 A-1「地域保健法」(p.120~123) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 B-1-2「保健にかかわる対策——健やかな生活をはぐくむために」(p.63~72) 公衆衛生：第3章 A-3-2「健康日本 21」(p.67~68)、第7章 B-2「健康づくり対策の変遷」(p.176~179) 社会保障・社会福祉：第2章 B-2-2「健康づくり対策の展開」(p.47~48)
		c 健康増進法	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 B-1-2「保健にかかわる対策——健やかな生活をはぐくむために」(p.63~72) 公衆衛生：第3章 A-3-2「健康日本 21」(p.67~68)、第7章 B-3「健診・検診」(p.179~181) 社会保障・社会福祉：第2章 B-2-2「健康づくり対策の展開」(p.47~48) 看護関係法令：第4章 A-2「健康増進法」(p.123~124)
	B 母子保健	a 母子保健法と施策	小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第8章 B「母子保健」(p.176~181) 母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第2章 A-3-2「母性看護に関するおもな法律」(p.75~76) 公衆衛生：第7章 A-1-2「日本の母子保健の歩み」(p.153~154)、A-2「母子保健の理念としくみ」(p.155~158) 社会保障・社会福祉：第7章 C-2-2「母子保健法と母子保健施策」(p.199~202)
		b 母子健康手帳	看護関係法令：第4章 B-2「母子保健法」(p.132~134) 小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第8章 B-2-1「母子保健手帳」(p.178~179) 母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第2章 A-4-1「妊産婦と乳幼児に対する支援」(p.77~81) 母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第3章 D-1-1「妊娠の届出と母子健康手帳の交付」(p.126~127) 公衆衛生：第7章 A-3-1「妊娠届および母子健康手帳の交付」(p.158~159) 社会保障・社会福祉：第7章 C-2-2「母子保健法と母子保健施策」(p.199~202)
		c 保健指導、訪問指導	看護関係法令：第4章 B-2「母子保健法」(p.132~134) 母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第2章 A-4-1「妊産婦と乳幼児に対する支援」(p.77~81) 母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第3章 D-1「妊婦が受ける母子保健サービス」(p.126~130)、第6章 D「施設退院後の看護」(p.351~354)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d 健康診査、健康教育	<p>公衆衛生：第7章 A-3「母体保護のための母子保健活動（妊娠期の支援）」(p.158～160)、A-4「育児支援のための母子保健活動」(p.160～164)、A-5「児童虐待防止のための母子保健活動」(p.164～167)、A-6「親性をはぐくむ母子保健活動(思春期含む)」(p.167～169)</p> <p>社会保障・社会福祉：第7章 C-2-2「母子保健法と母子保健施策」(p.199～202)</p> <p>看護関係法令：第4章 B-2「母子保健法」(p.132～134)</p> <p>小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第2章 D「成長の評価」(p.35～46)、E「発達の評価」(p.47～50)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第2章 A-4-1「妊産婦と乳幼児に対する支援」(p.77～81)</p> <p>母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第3章 D-1「妊婦が受ける母子保健サービス」(p.126～130)</p> <p>公衆衛生：第7章 A-3-2「妊産婦保健指導・訪問指導、妊婦健康診査」(p.159～160)、A-4-2「乳幼児健康診査」(p.161～162)</p> <p>社会保障・社会福祉：第7章 C-2-2「母子保健法と母子保健施策」(p.199～202)</p> <p>看護関係法令：第4章 B-2「母子保健法」(p.132～134)</p>
		e 母体保護法	<p>母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第2章 A-3-2「母性看護に関するおもな法律」(p.75～76)</p> <p>公衆衛生：第7章 A-6-1「思春期保健対策」(p.167～168)</p> <p>看護関係法令：第4章 B-3「母体保護法」(p.134～135)</p>
	C 精神保健	a 精神保健医療福祉の施策	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第7章 B「日本における精神医学・精神医療の流れ」(p.293～304)</p> <p>公衆衛生：第7章 D-2「地域生活を支えるためのしくみ」(p.212～218)、D-3「精神障害者の医療」(p.218～220)</p> <p>社会保障・社会福祉：第1章 B-1「社会福祉の法制度の歴史的展開」(p.12～15)、第7章 B-3「障害者福祉制度の変遷」(p.177～181)</p> <p>精神保健福祉：第2章 A「わが国の精神保健福祉の変遷」(p.12～33)、第3章「精神保健福祉に関する法律と施策」(p.40～63)</p>
		b 精神障害者(児)の医療と福祉	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第7章 E-1-4「精神科看護の基本となる法律」(p.319～320)、E-2-2「医療を受けるための法律と制度」(p.327～330)、E-2-3「生活を支えるための法律と制度」(p.330～334)、E-2-5「個別の課題に対応した法律」(p.337～340)</p> <p>公衆衛生：第7章 D-2「地域生活を支えるためのしくみ」(p.212～218)、D-3「精神障害者の医療」(p.218～220)</p> <p>社会保障・社会福祉：第7章 B「障害者福祉」(p.169～196)</p> <p>看護関係法令：第4章 B-1「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」(p.125～132)</p> <p>精神保健福祉：第3章「精神保健福祉に関する法律と施策」(p.40～63)、第4章「精神保健福祉活動の展開に必要な知識と技術」(p.66～120)、第5章「地域移行支援・地域生活支援の基礎」(p.122～156)、第6章「地域移行支援の展開」(p.158～204)、第7章「地域生活支援の展開」(p.206～241)、第8章「特定の状況に対する精神保健福祉」(p.244～289)</p>
		c こころの健康対策、自殺対策	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第1章 A「『心のケア』と現代社会」(p.2～7)、第7章 E-4-1「自殺・うつ病対策」(p.341～343)</p> <p>公衆衛生：第7章 D-4「自殺と自殺予防対策」(p.220～223)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d 発達障害に関する医療と福祉	<p>看護関係法令：第4章 B-7「自殺対策基本法」(p.138～139)</p> <p>精神保健福祉：第4章 B-2-3「自殺対策」(p.93～96)</p> <p>小児看護学 [2] (小児臨床看護各論)：第18章 B-2「発達障害(神経発達症群)」(p.494～498)</p> <p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章 C-10「神経発達障害群」(p.227～232)、第7章 E-2-5「個別の課題に対応した法律」(p.337～340)</p> <p>公衆衛生：第7章 F-2-2「就学支援」(p.243～247)</p> <p>社会保障・社会福祉：第7章 B-3-5「発達障害者支援法の成立」(p.180)、B-5-1「特別支援教育」(p.186～188)</p> <p>看護関係法令：第8章 D-3-7「発達障害者支援法」(p.232)</p>
	D 学校保健	a 学校保健安全法	<p>小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第8章 E「学校保健」(p.190～195)</p> <p>公衆衛生：第8章 A-1「学校保健が目ざすもの」(p.279～286)</p> <p>看護関係法令：第4章 B-4「学校保健安全法」(p.135～136)</p>
		b 健康診断、健康相談	<p>小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第8章 E-2「健康診断」(p.191～193)、E-3「健康相談」(p.194)</p> <p>公衆衛生：第8章 B「学校保健の展開」(p.291～297)</p> <p>看護関係法令：第4章 B-4「学校保健安全法」(p.135～136)</p>
		c 感染症対応	<p>教育学：第2部 第3章 B-3「保健的能力(保健の知識・技能・自治能力)の育成」(p.91)</p> <p>小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第8章 E-4「感染予防」(p.194)</p> <p>公衆衛生：第8章 B-2「感染症の予防と対策」(p.292～294)</p> <p>看護関係法令：第4章 B-4「学校保健安全法」(p.135～136)</p>
		d 学校環境衛生	<p>教育学：第2部 第3章 B-3「保健的能力(保健の知識・技能・自治能力)の育成」(p.91)</p> <p>小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第8章 E「学校保健」(p.190～195)</p> <p>公衆衛生：第8章 A-1-4「学校保健の構造」(p.280～284)</p> <p>看護関係法令：第4章 B-4「学校保健安全法」(p.135～136)</p> <p>教育学：第2部 第3章 B-3「保健的能力(保健の知識・技能・自治能力)の育成」(p.91)</p>
	E A～D以外の保健活動の基盤となる法や施策	a がん対策基本法	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 B-1-2「保健にかかわる対策——健やかな生活をはぐくむために」(p.63～72)</p> <p>公衆衛生：第7章 B-5「がん対策」(p.184～186)</p> <p>看護関係法令：第4章 B-5「がん対策基本法」(p.136～137)</p> <p>がん看護学：第1章 A「がんを取り巻く状況」(p.12～22)</p> <p>緩和ケア：第1章 D「わが国のがん対策と緩和ケア」(p.10～11)</p>
		b 難病の患者に対する医療等に関する法律〈難病支援法〉	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第7章 C-1「セルフマネジメントの支援」(p.213～215)</p> <p>成人看護学 [7] (脳・神経)：第6章 A-5-3「在宅療養支援態勢」(p.239～242)</p> <p>成人看護学 [11] (膠原病)：第1章 A-2「医療の動向と看護」(p.90～92)</p> <p>在宅看護論：第4章 B-4「難病法」(p.81～82)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			<p>公衆衛生：第7章 F-3-5「医療支援」(p.248～249)            社会保障・社会福祉：第3章 F「公費負担医療」(p.79～81)            看護関係法令：第4章 B-10「難病の患者に対する医療等に関する法律」(p.140)</p>
11 生活者の健康増進	A 生活習慣病の予防	a 主な生活習慣病の現状	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-2-3「生活習慣病」(p.51～53)            公衆衛生：第7章 B-4「生活習慣病対策」(p.181～184)</p>
		b 栄養、運動、休息	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-1-2「日常生活の状況」(p.43～48)、第5章 C-4「身体活動量低下と運動不足」(p.173～175)            栄養学：第10章 B「生活習慣病の予防」(p.247～248)            公衆衛生：第7章 B-4「生活習慣病対策」(p.181～184)</p>
		c 喫煙・飲酒対策	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-1-2「日常生活の状況」(p.43～48)、第5章 C-2「飲酒がもたらす健康問題」(p.171～172)、C-3「喫煙と健康問題」(p.172～173)            公衆衛生：第7章 B-4「生活習慣病対策」(p.181～184)            精神保健福祉：第8章 C「物質依存と精神保健福祉」(p.265～279)</p>
		d 健康教育と早期発見	<p>公衆衛生：第7章 B-1-1「疾病予防」(p.175～176)、B-6「健康教育」(p.186～189)            医学概論：第8章 D「予防的定期的総合健診の意義」(p.133～137)</p>
		e 循環器疾患の予防	<p>成人看護学 [3] (循環器)：第5章 A-3「冠状動脈硬化の危険因子」(p.143～149)            公衆衛生：第7章 B-4「生活習慣病対策」(p.181～184)</p>
		f 糖尿病の予防	<p>公衆衛生：第7章 B-4「生活習慣病対策」(p.181～184)</p>
		g 特定健康診査、特定保健指導	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 B-1-2「保健にかかわる対策——健やかな生活をはぐくむために」(p.63～72)            公衆衛生：第7章 B-4-2「特定健康診査・特定保健指導」(p.183～184)            社会保障・社会福祉：第2章 B-2-2「健康づくり対策の展開」(p.47～48)</p>
	B 職場の健康管理	a 労働安全衛生法	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第4章 B-2「職場におけるヘルスプロモーションを促進する看護」(p.157～160)            公衆衛生：第9章 A-1-1「労働者の健康問題と労働関連法令の変遷」(p.304～305)、A-2-1「労働安全衛生法」(p.310)            看護関係法令：第9章 A-2「労働安全衛生法」(p.237～239)</p>
		b 職業病の予防	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第4章 B-2「職場におけるヘルスプロモーションを促進する看護」(p.157～160)、第5章 C-1「就業・労働形態の変化がもたらす健康問題」(p.169～171)            公衆衛生：第9章 A-2「労働安全衛生法に基づく職場での健康管理」(p.309～313)、A-3「職場の健康管理体制」(p.313～316)、B-2「予防と個別支援、集団・組織支援」(p.317～319)            看護関係法令：第9章 A-2「労働安全衛生法」(p.237～239)            医学概論：第8章 B-5「労働衛生」(p.129～130)</p>
		c トータル・ヘルスプロモーション	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第4章 B「ヘルスプロモーションを促進する看護の場と活動」(p.155～160)            公衆衛生：第9章 A-2-2「労働安全衛生法」に基づく健康管理の実際」(p.311～313)            医学概論：第8章 B-5「労働衛生」(p.129～130)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d 作業環境管理	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第4章 B-2 「職場におけるヘルスプロモーションを促進する看護」 (p.157~160) 公衆衛生 : 第9章 A-3 「職場の健康管理体制」 (p.313~316)
		e ワーク・ライフ・バランス	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 B-2-3 「ワークライフバランス」 (p.33~34) 公衆衛生 : 第9章 C 「産業保健における今後の課題と新たな動き」 (p.319~321) 社会保障・社会福祉 : 第2章 A-5-4 「仕事と余暇——ワーク・ライフ・バランス」 (p.44) 社会学 : 第7章 D 「仕事と生活の調和」 (p.117~120)

目標Ⅳ. 人々の健康を守るための従事者に関する法や施策およびサービス提供体制について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
12 人々の健康を守る従事者や機関に関する法や施策	A 看護職に関する法	a 保健師助産師看護師法	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第6章 B-1 「保健師助産師看護師法」 (p.149~152) 看護関係法令 : 第2章 A 「保健師助産師看護師法」 (p.20~47)
		b 看護師等の人材確保の促進に関する法律	看護関係法令 : 第2章 B 「看護師等の人材確保の促進に関する法律」 (p.47~50)
	B 医療や社会福祉関連職に関する法	a 医療法	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第6章 C-1-3 「衛生法規」 (p.234~240) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 B-1-3 「医療にかかわる対策——健康への多様なニーズへの対応」 (p.72~74) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第4章 B-3-3 「医療法」 (p.158) 看護関係法令 : 第3章 A 「医療法」 (p.52~74) 看護関係法令 : 第3章 B-1 「医師法」 (p.74~77)
		b 医師法	看護関係法令 : 第3章 B-2 「歯科医師法」 (p.77~78)
		c 歯科医師法	看護関係法令 : 第3章 B-3 「薬剤師法」 (p.79~80)
		d 薬剤師法	看護関係法令 : 第3章 B-4 「診療放射線技師法」 (p.80~81)
		e 診療放射線技師法	看護関係法令 : 第3章 B-5 「臨床検査技師等に関する法律」 (p.82~83)
		f 臨床検査技師等に関する法律	看護関係法令 : 第3章 B-6 「理学療法士及び作業療法士法」 (p.83~84)、B-8 「言語聴覚士法」 (p.86~87)
		g 理学療法士及び作業療法士法、言語聴覚士法	看護関係法令 : 第3章 C-2 「精神保健福祉士法」 (p.101~102)、C-4 「社会福祉士及び介護福祉士法」 (p.103~105)
		h 社会福祉士及び介護福祉士法、精神保健福祉士法	看護関係法令 : 第3章 C-3 「栄養士法」 (p.102~103)
		i 栄養士法	
	C サービスの提供体制	a 医療計画	公衆衛生 : 第3章 A-3-1 「医療計画」 (p.66~67) 社会保障・社会福祉 : 第2章 B-2-1 「医療提供体制の特色と課題」 (p.47) 看護関係法令 : 第3章 A-12 「医療計画など医療提供体制の確保」 (p.69~70)
b 医療提供施設(病院、診療所、介護老人保健施設等)の機能		基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第6章 B-2-1 「医療施設における看護」 (p.217~222) 総合医療論 : 第3章 A-2 「診療所と病院」 (p.60~65) 看護関係法令 : 第3章 A 「医療法」 (p.52~74)	
c 助産所		基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第6章 B-2-1 「医療施設における看護」 (p.217~222) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 A-5-1 「母性看護の場」 (p.83~85) 看護関係法令 : 第3章 A 「医療法」 (p.52~74)	
d 訪問看護ステーション		基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第6章 B-2-2 「地域における看護」 (p.222~229)	



大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		e 地域包括支援センター	在宅看護論：第4章 D-2「訪問看護ステーションに関する規程」(p.94~95) 基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章 B-2-2「地域における看護」(p.222~229)
		f 救急医療	看護関係法令：第7章 A-4-6「地域支援事業」(p.205) 総合医療論：第3章 A-1「救急医療と蘇生術」(p.58~60)
		g 在宅医療	救急看護学：第1章「救急看護の概念」(p.2~46) 基礎看護学 [1] (看護学概論)：第1章 C-5「在宅療養を可能にする連携と継続的なかわり」(p.60~62) 在宅看護論：第4章「在宅看護にかかわる法令・制度とその活用」(p.76~109)
		h 診療記録と情報公開	総合医療論：第5章 G「インフォームド・コンセントと医療情報の開示」(p.132~138) 看護関係法令：第3章 A-10「診療に関する諸記録など」(p.67~68)
		i 安全管理〈セーフティマネジメント〉	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章 E「医療安全と医療の質保証」(p.276~287) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章 E-2「リスクマネジメント」(p.118~119) 看護の統合と実践 [2] (医療安全)：序章「医療安全を学ぶことのたいせつさ」(p.2~6)、第1章「事故防止の考え方を学ぶ」(p.8~36) 総合医療論：第6章 B「患者の安全」(p.148~154) 看護関係法令：第2章 A-10「医療過誤」(p.37~39)
		j 医薬品と医療機器の取り扱い	看護関係法令：第5章 A-1「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」(p.162~171)
		k 毒薬・劇薬・麻薬・血液製剤等の取り扱い	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第9章 A-2-2「薬の管理」(p.289~290) 薬理学：第1章 F-1「医薬品に関する法律」(p.58) 看護関係法令：第5章 A-1-8「医薬品等の取扱い」(p.168)